

意見書第2号

新型コロナウイルス感染症対策に対し、緊急事態宣言の発出等、
蔓延防止対策を求める意見書（案）

上記の議案を、地方自治法（昭和22年法律第67号）第99条の規定に基づき別紙のとおり議決を求める。

令和3年4月26日提出

提 出 者

香芝市議会議員

木 下 充 啓

賛 成 者

香芝市議会議員

小 西 高 吉

中 山 武 彦

下 村 佳 史

上田井 良 二

芦 高 清 友

眞 鍋 亜 樹

新型コロナウイルス感染症対策に対し、緊急事態宣言の発出等、
蔓延防止対策を求める意見書（案）

新型コロナウイルス感染症は、令和３年３月から急激に陽性者確認数が拡大し、現在の奈良県においては連日、１日における感染確認は最多数を更新する状態に陥っている。

この感染確認数の増加は奈良県だけに限らず、大阪府、兵庫県、京都府、和歌山県など関西一円で蔓延しており、特に大阪府、兵庫県、京都府では、令和３年４月２３日には、インフルエンザ等対策特別措置法（平成２４年法律第３１号）第３２条第１項に規定する新型インフルエンザ等緊急事態宣言がなされた。

奈良県においても、直近の一週間の人口１０万人あたりの新規感染者数は、国の基準でも最も深刻な「ステージ４」であり、その他、入院及び療養施設入所の待機者も急増しており、自宅療養を余儀なくされる陽性者も急増している。

これらは明らかに県民の生命や健康に重大な被害を与える恐れ及び急速な蔓延により県民生活と経済に甚大な影響を与える恐れがあり、直ちに近隣府県と格差のない蔓延防止対策等に取り組む必要があると思慮する。

以上の意見から奈良県においては、緊急事態宣言の発出を求める等、蔓延防止に係る措置を直ちに執ることを求める。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和３年　　月　　日

奈良県知事　　荒井　正吾　殿

奈良県香芝市議会